

事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価)

(評価年度:令和7年度)

事業計画の目的・設定、年間計画、事業計画				計画年度：R7和7年度		
政策	2 農林水産戦略					
目指す姿	2 林業・木材産業の成長産業化					
施策の方向性	③ 木材の生産・流通体制の整備と利用の促進					
事業名	森林健全化対策緊急支援事業			事業年度	R7	年度～
部局名	農林水産部	課室名	森林資源造成課		R7	年度
チーム名	再造林推進チーム					

1 事業実施の背景及び目的

令和7年春から高温や乾燥状態が続いたことで、森林病虫害の活動活発化による被害が発生している。
虫害の発生拡大は材への突入や変色・腐朽が生じ原木の品質低下を招くとともに、森林が衰弱し公益的機能の低下に繋がるため、過密化林分において緊急的に間伐を行い、病虫害等の被害を防止し森林の公益的機能の発揮を図る。

2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和7年度 予算額	令和6年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	森林健全化対策緊急支援事業	高温等により活動が活発化する森林病虫害の被害拡大防止を図るため、搬出間伐等に要する経費を支援する。	47,760		
2					
3					
4					
5					
その他合計 (件)					
財源内訳		左の説明	47,760	0	0
国庫補助金					
県債					
その他					
一般財源			47,760	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名	虫害被害発生区域における原木の搬出量(m ³)【業績指標】									
指標式	搬出間伐による木材加工工場等への原木搬入量(m ³)									
出典	森林資源造成課調べ									
把握時期	当該年度3月									
年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
目標a								6,120		
実績b										
b/a								0.0%		

【指標Ⅱ】

指標名										
指標式										
出典										
把握時期										
年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
目標a										
実績b										
b/a										

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)